

南三陸町・釜石 『こころのケアカフェ』 報告会

東北震災支援にこころを寄せてくださる皆さんへ

日本中から寄せられた支援の手に励まされ16年目を迎えた神戸からの発信です。
震災・つなみ・原発の3重苦にさいなまれている東北の仲間へ“思いをかたちにする”支援をおくいませんか？

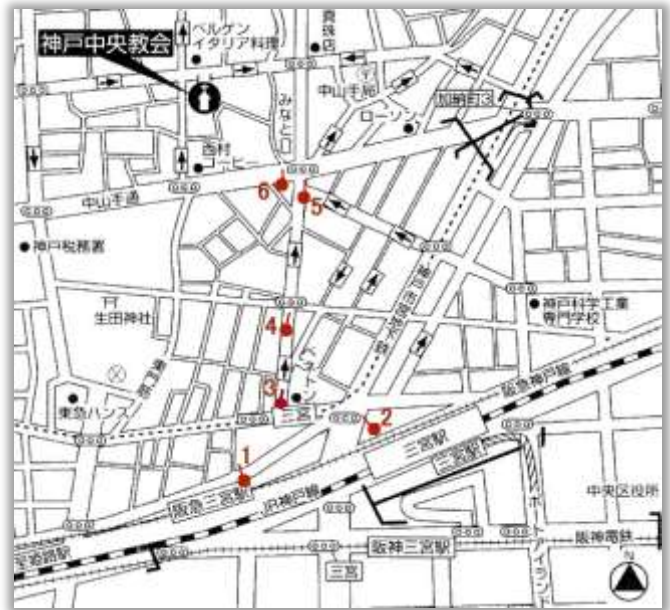
とおく離れて現地へ行くことの出来ないあなたも、また現地で「手と心と時」を提供できるあなたも、的確な支援を届けるために、まず、現地の状況を知ることから一緒にはじめませんか？

報告会： ＊ 南三陸町で、“こころのケアカフェ”を開く つつみさん より
＊ 釜石の避難所で“スピリチュアルケア”を継続している うねさん より
現地の様子を知らせてもらいます。

と き： 2011年7月18日(海の日)
午前11時～12時

と ころ： カトリック神戸中央教会 集会室
神戸市中央区中山手通1-28-7

主 催： 大阪教区ENG0プロジェクト
連絡先：078-271-3280
(カトリック社会活動センター)



あなたの周りで関心を持っている人にもぜひ伝えてください。

ケアカフェ心香を始めてから、毎日通う人、日に2～3度来られる人、一人で来る時もあれば、友達を誘ってくる時もあり、楽しくおしゃべりする日があったり、静かに過ごす日もあり思い思いに利用して下さっています。ここに来ると何かわからないけど、涙が出てくるとか、避難所に居ることを忘れてしまいそうな感覚を覚えた。と話して下さる方もいます。Beingの空気、スピリチュアルな配慮を感じ取るのでしょうか。少しずついやしの作業をしていただければと思います。また、少し前に、一人の女性から、姉が津波で流され、幼い子どもには何も伝えていない「ママいつ帰ってくるの？まだ帰ってこないの？」と毎日聞かれ、行くと泣いてしまうのでつらくて会いに行きに行きあげることもしない。いつかは伝えなければならないがどうしたらいいかわからないと泣きながら相談に来られました。その数日後に、義兄であるその子どもの父親と祖母に会い、気持ちや思いを確認し、真実を伝えることに大切さを確認し、そのための準備をしました。今日は震災から3カ月、子どもにお母さんが亡くなったことを伝えることができました。つらかったけど、胸のつかえがとれてホッとしました。そう報告に・・・。

徐々に仮設が完成し、避難所から仮設への移行が始まっています。仮設に入ると自立とみなされ、物資の支給や食事の提供など、さまざまな支援は止まります。義援金の支給も進まない状態で、お金が無い、仕事が無い、車が無い、お店が無い、買い物にも行けないなど、それぞれに不安や戸惑いが広がっています。避難所生活が長くプライバシーのない生活でありながら、大勢でいる安心感や支え合いがあった反面、仮設へ移れば、また・・・。